

学部 / 看護専門領域 / 看護援助の方法 科目コード:140005												
成人・老年看護方法論演習Ⅲ Practice:Adult and Gerontological Nursing Ⅲ												
担当教員	臺 美佐子、瀧澤 理穂、星野 真実、紺家 千津子、峰松健夫、南條 裕子、額 奈々、大貝 和裕、長谷川 陽子、松本 勝、立川 啓太、北村 言、大橋 史弥、沖田 翔平											
実務経験	複数の教員が担当し、各回には病院勤務経験を有する教員が配置されている。											
開講年次	3年次前期	単位数	1		授業形態			演習				
必修・選択	必修	時間数	30									
該当イテマ・ボリ-	(1)	(2)	(3)	○	(4)	◎	(5)	(6)				
Keywords	成人期、老年期、慢性期、終末期、移行支援(退院支援)、継続看護、看護展開											
学習目的・目標	<p>目的: 健康レベルや病態的特徴に即した成人期・老年期の対象の理解や看護問題解決に必要な技術の基本を修得する。また、対象の移行支援や継続看護に必要な視点を身に付け、その具体的な援助方法を理解する。</p> <p>目標: 1. 慢性疾患やがんを有する患者の、症状・生体機能管理技術を実践し修得できる。 2. 慢性疾患やがんを有する患者の、感染予防技術を実践し修得できる。 3. 慢性疾患やがんを有する患者の、清潔・衣生活援助技術を実践し修得できる。 4. 慢性疾患やがんを有する患者の、呼吸・循環を整える技術を実践し修得できる。 5. がん・終末期の患者とその家族への看護支援方法を修得できる。</p>											
授業計画・内容												
回	内容										担当	
1	がん治療後の副作用への看護										臺、瀧澤、星野 他	
2-3	慢性疾患患者のセルフケア指導(血糖自己測定・栄養指導)										星野、長谷川、臺、瀧澤、南條、額、立川 他	
4-5	がん患者とのコミュニケーション技術(ロールプレイング) がん患者とのコミュニケーション技術(プロセスレコードの書き方)										星野、瀧澤、臺、峰松、松本勝、南條、額、立川 他	
6-7	心不全患者のフィジカルアセスメント・臨床判断①(シミュレーション演習)										瀧澤、星野、臺 他	
8-9	心不全患者のフィジカルアセスメント・臨床判断②(OSCE)										瀧澤、星野、臺 紺家、大貝、南條、額、立川 他	
10-11	心不全患者の看護展開①(アセスメント)										臺、瀧澤、星野 他	
12-13	心不全患者の看護展開②(関連図)										臺、瀧澤、星野 他	
14-15	心不全患者の看護展開③(看護計画・評価)										瀧澤、星野、臺 他	
教科書	系統看護学講座:成人看護学総論、医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学 3呼吸器、5消化器 がん看護 改定第2版、南江堂 緩和ケア 改定第3版、南江堂											
参考図書等	疾病・障害論で使用したテキスト 看護学大辞典第6版(電子版)メジカルフレンド社 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学2、3～11											
評価指標	レポート60%、筆記試験40% ＊講義、グループワークの時間数の2/3以上の出席とOSCEに合格しなければ、試験は受験できず、評価の対象にはならない。											
関連科目	本科目の履修は、基本的に成人看護学概論、成人看護方法論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、老年看護学概論、老年看護方法論Ⅰ・Ⅱを履修し、単位認定されていることが望ましい。 関連科目:成人看護学概論、老年看護学概論、成人看護方法論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、老年看護方法論Ⅰ・Ⅱ、成人・老年看護方法論演習Ⅰ・Ⅱ、成人・老年看護学実習(急性期)、成人・老年看護学実習(慢性期)、解剖生理学/演習、代謝と栄養、疾病・障害論Ⅰ～ⅡC、フィジカルアセスメント、薬理学など											
教員から学生へのメッセージ	この演習では、慢性期・終末期看護の基本的技術を学びます。看護実践で大切なことは、病態生理をもとに、対象者の方々の心理社会的背景、人生観、どのように生きていきたいかといったことを理解して、看護技術を計画・実施・評価することです。看護技術の基本を学び、リフレクションで技術を磨き、様々な事例への展開を目指しましょう。											